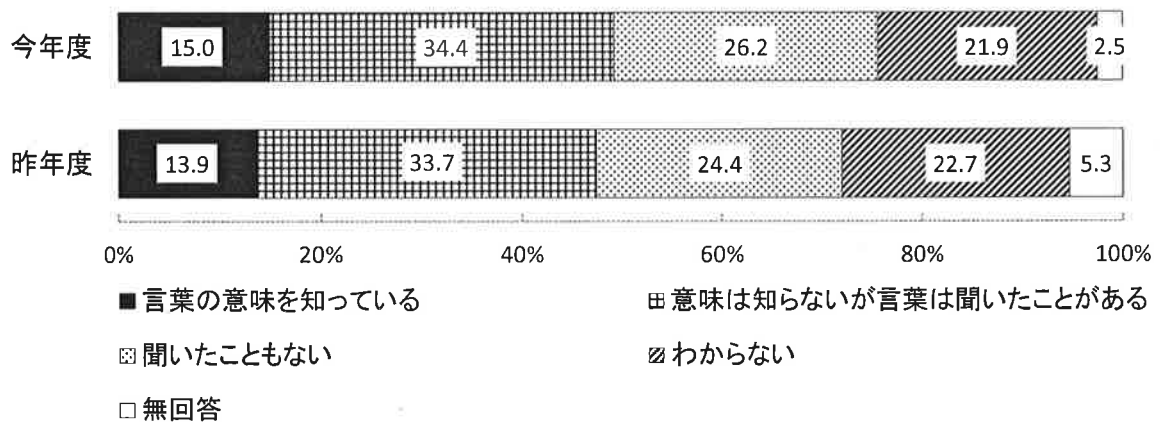


## 7. 生物多様性について

「生物多様性」とは、生き物たちの豊かな個性とつながりのことです。食料、木材、薬など、私たちが、目頃あたり前に利用しているものの多くは、生物多様性がもたらす恵みの上に成り立っています。

### 7-1. 「生物多様性」の認知状況

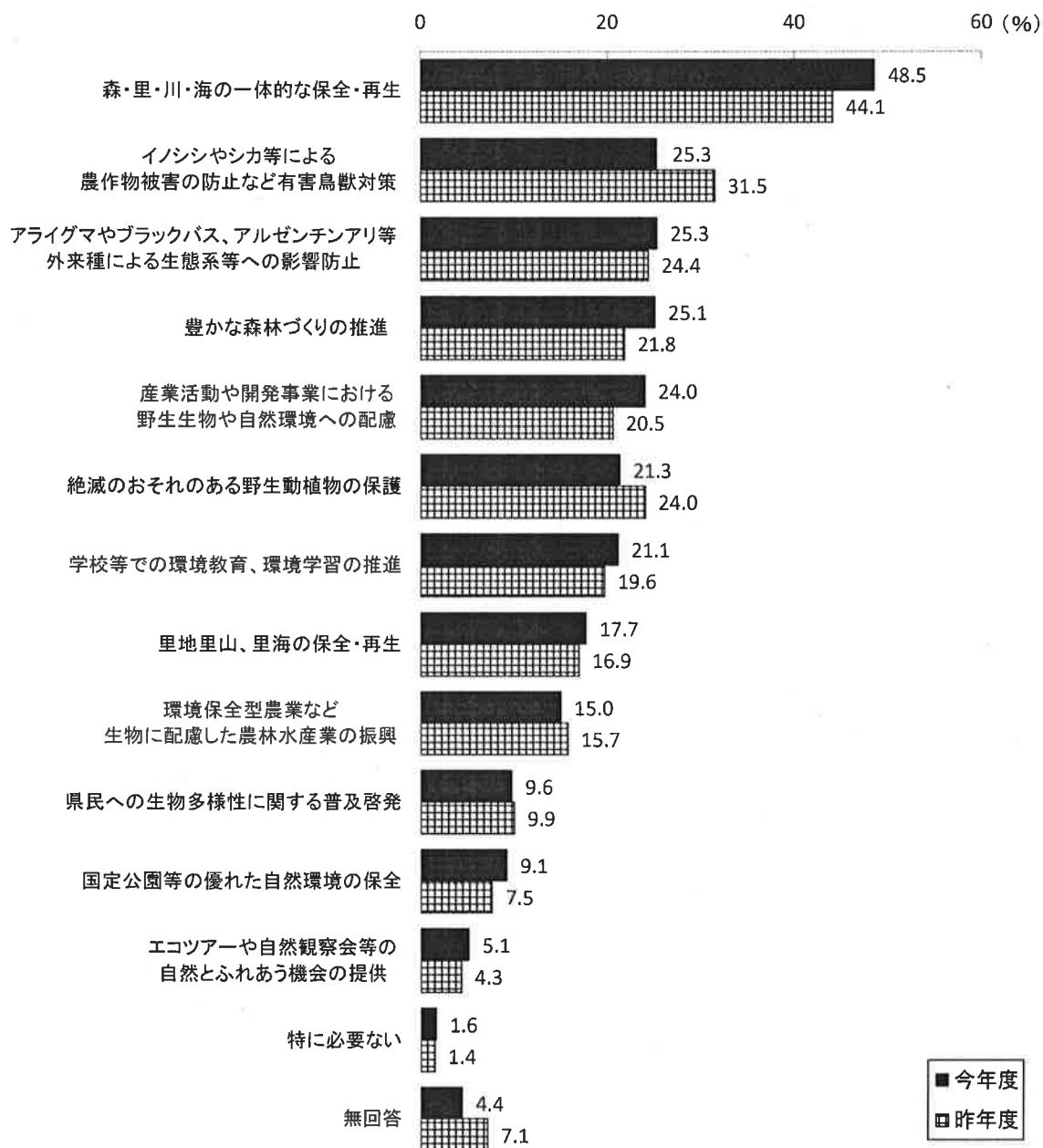
Q7-1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ)



「生物多様性」の認知状況について、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が34.4%と最も高く、次いで「聞いたこともない」(26.2%)、「わからない」(21.9%)、「言葉の意味を知っている」(15.0%)の順となっている。昨年度と比較すると、「言葉の意味を知っている」が1.1ポイント上昇している。

7-2. 生物多様性を守るために必要な取組

Q7-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)



生物多様性を守るための必要な取組について、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が 48.5%と最も高く、次いで「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」(25.3%)・「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」(25.3%)、「豊かな森林づくりの推進」(25.1%)、「産業活動や開発事業における野生生物や自然環境への配慮」(24.0%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」は 4.4 ポイント上昇し、「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」は 6.2 ポイント低下している。